軽微な変更説明書（中間検査の申請前までに把握分）

※正本と副本を準備してください。

◎関連様式等４．

※確認以降に軽微な変更があった項目を記載してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 変更の項目 | 該当号 | 変更された  設計図書の種類 | 変更の概要 | 備考 |
| １ |  |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |  |
| ３ |  |  |  |  |  |
| 1. 変更の項目は、関連する事項であればまとめて記載してもよい（例の１と２を合わせて記載）が、変更の事項が   規則第３条の２のどの号であるかが明確である必要である。   1. 変更された設計図書の種類には、当該部分に関わる直前の確認申請図書の図面名称、図面番号を記載する。 2. 変更の概要は、変更事項及び別添の変更に関わる検討方法を記載する。 3. 備考に、当該変更に関わる別添の変更説明書の名称を記載する。 4. 変更後の図書については、当該部分に関わる直前の確認申請図書に、変更部分を赤書き等で記載し、変更内容が   わかりやすいように明示することが望ましい。（審査が可能であれば、別添でも可能だが、別添の場合は両図書の整合に注意して審査を行う必要がある。） | | | | | |

（記載例）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 変更の項目 | 該当号 | 変更された  設計図書の種類 | 変更の概要 | 備考 |
| １ | 基礎ぐいの  位置の変更 | 第八号 | 基礎伏図  （S-1） | 基礎ぐいの位置の変更により  フーチング及び基礎ばりの  許容応力度計算の確認を行い、  結果として基礎ばりについては  配筋の変更が必要となった。  変更となる基礎ぐいについては、別添１を参照。 | 別添-1（変更S-1）  変更説明書-1（構造計算書等） |
| ２ | 基礎ぐいの  位置の変更に伴う  基礎ばりの  断面変更 | 第九号 | 断面リスト図（S-2） | 別添2（変更S-2）  変更説明書-2（構造計算等） |

※様式の指定はありません。各特定行政庁や確認検査機関がホームページ等に掲載している様式等で

代用して構いません。